


朝鮮語教育学会 第86回例会（2021年3月）配布資料



NIS諸国における韓国語教育の現状

NIS 국가들의 한국어 교육 현황

高木丈也
慶應義塾大学 総合政策学部

当配布資料には、当日の発表では、時間の関係上、説明を省略する内容も参考資料として掲載しています。適宜、ご参照いただくようお願いいたします。

1. はじめに



1991年 ソビエト連邦の解体

→構成共和国の独立

→**NIS(New Independent States)諸国**の誕生

ロシア、ベラルーシ、ウクライナ、モルドバ、カザフスタン、
ウズベキスタン、キルギス、トルクメニスタン、タジキスタン、
ジョージア、アゼルバイジャン、アルメニア

1. はじめに

・NIS諸国

- －各種交流の少なさ、本国からの距離の遠さ
- －同地域の韓国語、韓国語教育の実情に関する研究の少なさ
 - 地域事情に関する情報の不足、理解の欠如

※在外同胞(コリアン)に関する論文数は、
朝鮮族>在米コリアン>高麗人>在日コリアンの順(김윤주(2018))

1. はじめに

- ・当該地域の特殊性

1)高麗人の存在 → 2～4世に分布

「ロシアにおける高麗人の10%が民族語を上手に駆使するが、彼らは一般に方言を使用する」(엄넬리(2006:913)、筆者訳)

2)韓国との急接近

3)北朝鮮との関係(ロシアの場合)

- ・当地域における韓国語教育の現状は？
- 独自のフィールドワークの結果を報告

1. はじめに

[参考] 高麗人とは？

1860年：北京条約 締結(ロシア帝国、清国間)

→ 沿海州、ウスリー川、アムール川を含む広大な極東地域が
ロシア帝国領に

1863年：沿海州ポシエト地区に13世帯が移住

→ 朝鮮半島 北部地域から沿海州への移住

1. はじめに

1937、38年：日本のスパイと目され、
沿海州から中央アジアへ強制移住

→ 集団農場(コルホーズ)で農業に従事、
移動の自由の剥奪

1950年代：生活の安定

→ モスクワ、サンクトペテルブルク(旧レニングラード)、キエフなどの
高等教育機関へ子女を通わせる動き

1991年：ソビエト連邦の解体

→ 新生国家における少数民族として再編

父母と話すときに民族語を使用しない人の割合：76.7% (임영상(2008))



1. はじめに

【表1】各国の成立年、対韓国交樹立年、高麗人人口、在留韓国人人口

	成立年	韓国との 国交樹立年	高麗人人口 (2018年時点、 외교부(2020))	在留韓国人人口 (2018年時点、 외교부(2020))
ウズベキスタン	1991年	1992年	175,431人	1,839人
カザフスタン			108,396人	1,527人
ロシア		1990年	163,538人	6,395人
ウクライナ			約30,000人(推定)	334人

1. はじめに

【表2】投資額、貿易額、在韓留学生数

	韓国による 投資額 (외교부(2020))	対韓国貿易額 (외교부(2020))		在韓留学生数 (법무부(2020))	
		輸出	輸入	男性	女性
ウズベキスタン	15.41億ドル	0.2億ドル	23.38億ドル	6,777人	1,063人
カザフスタン	39.91億ドル	15.61億ドル	26.57億ドル	318人	629人
ロシア	37.46億ドル	145.5億ドル	77.76億ドル	153人	731人
ウクライナ	3.61億ドル	4.5億ドル	3.5億ドル	35人	97人

- 投資額→ウズベキスタン、カザフスタン、ロシアは、2019年第3四半期までの累計額。ウクライナは2018年までの累計額。申告額基準。
- 対韓貿易額→ウズベキスタン、カザフスタン、ロシアは2019年。ウクライナは2018年。
- 留学生数→2018年時点での留学ビザ(D-2)、一般研修ビザ(D-4)取得者基準。ロシアには「韓国系ロシア人」を含む。

2. 先行研究① : 한영균, 김수경, 김류보비(2009)

- ・ウズベキスタン、カザフスタン、キルギスタンにおける韓国語教育
- ・2007年から2009年に現地調査
- ・各国の各種学校における学生数、教員数、使用教材を詳細に報告
- ・教員、支援制度に関する現状も分析

⇒ 現状における課題

1. 各国の状況を反映した韓国学支援体系の樹立
2. 韓国語教員への支援
3. 韓国語教員への再教育
4. 韓国語教育資料の開発

2. 先行研究② : 한 넬리(2015)

- ・カザフスタンにおける韓国語教育課程

⇒現在の問題点

1. 良質な教員の確保(人材流失→非専攻者が教育に従事→質の低下)
2. 教科課程の整備(より多くの授業時間の確保)
3. 教材の充実(カザフ語、ロシア語による教材、漢字、マルチメディア教材)

⇒先行研究の数自体が少なく、各国の教育の最新の状況は不明。

3. 調査の概要

- ・調査国(都市) : ウズベキスタン(タシケント市) : 2019年9月
カザフスタン(アルマトイ市) : 2019年9月
ロシア(ウラジオストク市) : 2019年10月
ウクライナ(キエフ市) : コロナにより保留中
- ・調査方法 :
 - －教職員・学生へのインタビュー、アンケート
 - －授業の参与観察
 - －教育機関の見学

4. 分析(FWの報告) : 主要教育機関の分類

A) 公的機関

- ①高等教育機関(大学、大学院)
- ②初中等教育機関(小中高校)
- ③韓国政府傘下の機関

B) 半官半民機関

- ④韓国政府傘下の機関

C) 民間機関 ⇒新型コロナウイルス感染拡大の影響により、調査を延期中。

- ⑤ハングル学校(私塾)
- ⑥教会

4.1. 各国の状況①ーウズベキスタン



地域的特徴

- 1938年当時、96のハングル学校が存在(学習者：約2万人)
 =母語としての韓国(朝鮮)語学習 ※高麗人人口：中央アジアNO.1
- ソ連成立後、民族差別の激化により、ロシア語教育が台頭
 (슬레바 딜라프루즈(2019))
- 1990年代以降 **韓国企業の進出**
 (1996年：大宇自動車がウズベキスタン工場を設置～)
- 2000年代以降、**韓流ブームの拡大**
 →学習者が増加(学習者人口：2万人以上(교육부(2018)))
 →海外同胞ビザにより韓国企業への就職を希望する高麗人多い

4.1. 各国の状況①ーウズベキスタン



A)公的機関：高等教育機関(大学、大学院)

- ・2019年現在、13の大学で韓国語の授業を開講(専攻設置は4校)

◆国立東方大学

- ・1918年11月設立。中央アジアにおける唯一の東方学を専門とする大学。
- ・韓国語の他にアラビア語、ベトナム語、ダリー語(ペルシア語)、中国語、ペルシア語、トルコ語、ウルドゥー語、ヒンディー語、日本語、インドネシア語、マレーシア語などの講座を持つ。
- ・①東方学学部、②中国学学部、③世界政治・歴史・哲学学部、④世界経済・地理学部、⑤韓国学学部の5学部で構成
- ・2018年 韓国学学部 開設(中央アジア初)
 (下位に韓国語文学科、韓国経済・政治学科、韓国歴史・文化学科)

4.1. 各国の状況①－ウズベキスタン



A) 公的機関：高等教育機関(大学、大学院)

◆ニザミ師範大学

- ・ 1935年 大学 設立
- ・ 1956年 韓国語文学科 設置(ウズベキスタン初)
※初代学科長：황윤준(ビクトル・アントノビッチ：高麗人)
(1964年～1984：廃科)
- ・ 2005年 修士課程 設置
- ・ 教員：約20人

(韓国人専任 1人 + KOICA(韓国国際協力団)からの派遣教員 1人 + 高麗人2人)

4.1. 各国の状況①－ウズベキスタン



A) 公的機関：高等教育機関(大学、大学院)

<現状の問題点>

①教員不足

<要因>

- －韓国語専攻の卒業生の多くは、韓国系企業に就職
- －経済的に発展した地域(モスクワやアルマトイ)への移住
→研究者、教員を育成できず
- －教員の私立大学への流出

※인하대, 부천대, 경인여대など韓国大学の進出
(=好条件の提示、1時間15ドル)

4.1. 各国の状況①ーウズベキスタン



A) 公的機関：高等教育機関(大学、大学院)

② 学生の脱落率の高さ(言語+モチベーション維持の難しさ)

한영균, 김수경, 김류보비(2009)(2007~2009年に調査)

学生の大部分が高麗人としている

→2019年時点、高麗人学生は少数

(高麗人のための教育機関から、ウズベク人のための教育機関へ)

4.1. 各国の状況①ーウズベキスタン



A) 公的機関：初中等教育機関(小中高校)

- ・ 2019年現在、38の小中高校で韓国語の授業を開講
- ・ 韓国語の学習学年、期間は学校によって異なる
(2~11年生、3~10年生、5~9年生など)
- ・ 小中学校における韓国語クラスの開設数(学習者数)推移
(교육부(2018)、솔레마 딜라프루즈(2019)をもとに整理)
2014年：19校(7,102人) 2015年：19校(6,978人)
2016年：22校(7,107人) 2017年：28校(7,627人)
2018年：34校(約9,300人)※11月基準
2019年：38校(不明)

4.1. 各国の状況①－ウズベキスタン



A) 公的機関：初中等教育機関(小中高校)

- 2015～2017年 ウズベキスタン教育部と韓国教育院が韓国語教科書を共同開発
→英語以外の国定教科書が認定されるのは初の事例
(国内の学校で韓国語を第一外国語として教育が可能に)

◆第35番学校

- 1989年に放課後教室を設置、2008年から第2外国語として設置
- 1,972人の全校生徒のうち、785人(2～11年生)が韓国語を選択

◆26番特殊学校

- 2006年から韓国語授業を開始
- 461人の全校生徒のうち、337人(6～9年生)が韓国語を選択

4.1. 各国の状況①－ウズベキスタン



A) 公的機関：初中等教育機関(小中高校)

- 2015～2017年 ウズベキスタン教育部と
韓国教育院が韓国語教科書を共同開発
→英語以外の国定教科書が認定されるのは初の事例
(国内の学校で韓国語を第一外国語として教育が可能に)



(K스피릿(2018))

◆第35番学校

- 1989年に放課後教室を設置、2008年から第2外国語として設置
- 1,972人の全校生徒のうち、785人(2～11年生)が韓国語を選択

◆26番特殊学校

- 2006年から韓国語授業を開始
- 461人の全校生徒のうち、337人(6～9年生)が韓国語を選択

4.1. 各国の状況①－ウズベキスタン



A) 公的機関：韓国政府傘下の機関

◆タシケント韓国教育院

- ・1992年5月27日 韓国教育部により設立
- ・月・火・木・金曜日、4つの時間帯に開講
- ・Level1～6、6段階クラス編成＋留学班、会話班など
- ・2学期制(春学期：2～5月、秋学期：9～12月)
- ・約3,700人の学生が受講(毎学期、850人募集、高麗人は約3割)
- ・教員はほぼすべて高麗人、韓国人教員は3人(5・6段階＝上級を担当)
※院長、副院長は韓国人
- ・韓国人大学生6人がボランティアで教授補助

4.1. 各国の状況①－ウズベキスタン



A) 公的機関：韓国政府傘下の機関

- ・もとは在外国民教育機関としての設置
- ・現在は韓国企業に就職を希望する人のための言語教育機関としての側面大
- ※韓国との接近、韓国企業の進出→就職するなら、モスクワではなくソウル
- ・一般市民、第2外国語として韓国語を学びたい人々の受け皿に
- ・ロシア語クラス、ウズベク語クラスを設置
- ・『初級者のための韓-露、露-韓辞典』を編纂(2005年)

※2020年春 level別クラス数(週2回、90分授業)

L1：29、L2：10、L3：5、L4：3、L5：3、留学班：1、会話班：1

4.1. 各国の状況①ーウズベキスタン



B) 半官半民機関：韓国政府傘下の機関

◆世宗学堂 세종학당

2011年8月24日 開校

主要事業：世宗学堂の認定、運営支援、韓国語教育の支援

韓国語教員の専門性の強化、韓国文化の普及、世宗学堂の広報

- ・ 2007年以降、世界各地に韓国語教育機関を設置（60か国、180か所に展開(2019年)）。
- ・ 2019年の活動
料理教室(毎月)、正月トック^ㄱ・秋夕ソ^ㄴピョ^ㅇ作りと民族遊び体験、文化行事(韓服、韓食、サム^ㄹノリ体験)、映画上映、スピーチ大会、k-popコンテストなど

4.1. 各国の状況①ーウズベキスタン



C) 民間機関：ハングル学校(私塾)

- ・ 全国に42校、教員：33人、学習者：3,480人(교육부(2020))

◆Hello Korea

- ・ 所長、韓国人(天理大学出身)
- ・ 少人数でのレッスン
- ・ 提携先の学校に派遣(ビザ申請などを請け負い、仲介手数料を得る)。
- ・ 高麗人スタッフ2人

4.1. 各国の状況②ーカザフスタン



地域的特徴

- ・中央アジアにおける経済的な優位性(圧倒的な韓国からの経済投資)
- ・比較的遅く始まった韓国語教育 ・高麗人人口はウズベクの約半分

A)公的機関：高等教育機関(大学、大学院)

- ・1991年 アバイ国立教育大学に韓国語学科 設置→韓国語教育の開始
- ・現在、16の大学で韓国語教育を実施(한 넬리(2015))
- ・韓国語専攻は、カザフ国立大、アブライハン大学にのみ設置

◆カザフスタン国際関係及び世界言語大学(アブライハン大学)韓国学科

- ・1998年9月 韓国学講座 設置
- ・語文学専攻、通訳翻訳専攻、韓国学専攻を開講(2018-19年度現在)

4.1. 各国の状況②ーカザフスタン



A)公的機関：高等教育機関(大学、大学院)

- ・400人の学生を擁する中央アジア最大級の韓国学専攻
- ・カザフ語話者クラス、ロシア語話者クラスを設置

2012年10月 韓国学センターを設置

2015年 海外中核大学事業に選定(中央アジア初)

学術誌、ニュースレターの発行、学術大会、韓国学オリンピックの開催
(중앙아시아 한국학교수협의회(2019a, b))

教材『カザフスタン人のための韓国語』(韓国国際交流財団、国民銀行がスポンサー)

4.1. 各国の状況②ーカザフスタン



A) 公的機関：初中等教育機関(小中高校)

- 2019年現在、21の小中高校で韓国語の授業を開講
(알마티 한국교육원(2021))
- そのうち10校が正規科目、11校が非正規科目(放課後授業)として実施
- 正規科目：ヌルスルタン NIS物理数学学校が2017年9月より実施
- 非正規科目：アルマティ65番学校、アルマティ160番学校が1998年9月～

4.1. 各国の状況②ーカザフスタン



A) 公的機関：韓国政府傘下の機関

◆アルマトイ韓国教育院

- 1991年8月22日 韓国教育部により設立
- 月曜日～木曜日、4つの時間帯に開講
- Level1～8、8段階クラス編成
- 2学期制(春学期：3～5月、秋学期：9～12月)、各学期15週
- 韓国語、あるいはロシア語、カザフ語(初級)による授業を実施。
(高麗人のみならずカザフ人も多い)
- 教材：Level1・2：『재외동포를 위한 한국어』(在外同胞のための韓国語)
Level3～8：『세종 한국어』(世宗韓国語)



4.1. 各国の状況②ーカザフスタン



A) 公的機関：韓国政府傘下の機関

※2020年春 level別クラス数：

L1：33、L2：12、L3：5、L4：3

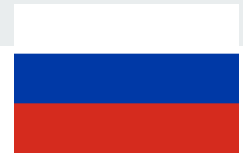
L5：3、L6：1、L7：1、L8：1

C) 民間機関：ハングル学校(私塾)

全国に29校、教員：112人、学習者：1,651人(교육부(2020))

◆Adept Consulting、Korean Center in Kazakhstanなど

4.1. 各国の状況③ーロシア(沿海州)



地域的特徴

- ・ロシア国内で最も高麗人が多い地域
(1990年代初め、約4万人(조엘레나(2018)))
※ソ連解体後、ロシア語話者としての高麗人の沿海州への再移動
- ・沿海州各都市に高麗人協会が存在
- ・本国との近接性
- ・「沿海州の高麗人には韓国語は最近、新たに接することになった外国語と同じ意味を持つ」(이중원(2016:21、筆者訳))

4.1. 各国の状況③ーロシア(沿海州)



A) 公的機関：高等教育機関(大学、大学院)

2002年時点で、おおよそ10の大学において韓国語の授業を提供
(최영표(2002))

◆極東連邦大学

- ・1899年 ニコライ2世の命により東洋学大学 設立(中日満韓蒙語を教授)
- ・2011年 数次の改称、改組を経て、極東連邦大学が発足
- ・東洋大学(東洋学院)内に韓国(語)学科
- ・2019年新入生は85人
(東洋大学の入学生全体：242人、中国語学科：81人、日本語学科：76人)
- ・金日成総合大学、平壤外国語大学とも交流
- ・教員は皆、ロシア人

4.1. 各国の状況③ーロシア(沿海州)



A) 公的機関：韓国政府傘下の機関

◆ウラジオストク韓国教育院

- ・1995年3月24日 韓国教育部により設立
- ・沿海州にはハバロフスクにも1校あり
- ・月曜から木曜のうち、原則2時間授業を週2回実施
- ・13段階クラス編成、1クラス24～30人
- ・2学期制(春学期：2～5月、秋学期：9～12月)
- ・基本的にどのクラスも韓国人とロシア人／高麗人のチームティーチング制
(会話は韓国語母語話者が担当)
- ・上級クラスもロシア人が担当
- ・駐在員子女などのための補習校の役割も(週末に4時間実施)



4.1. 各国の状況③ーロシア(沿海州)



A) 公的機関：韓国政府傘下の機関

※2019年秋 level別クラス数(★は週1回)

基1 : 1、基2 : 1、基3 : 1、基4 : 1、基5★ : 1、初1 : 1、初2 : 1、初3 : 1
初4 : 1、中1 : 1、中2 : 1、上 : 1、大人クラス★ : 2

C) 民間機関：ハングル学校(私塾)

- ・域内に19校、教員 : 74人、学習者 : 835人(교육부(2020))

C) 民間機関：教会

- ・韓国人牧師、宣教師、あるいはその夫妻による小規模の韓国語教室
- ・初級中心、子供、老人の参加者多い

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.1. 韓国との接点

- ・1990年代初頭に国交樹立
- ・韓国教育院、世宗学堂による教育実践
- ・韓国政府による支援
 - 例：韓国教育院の運営、海外韓国語教師派遣および養成支援事業(教育部)
 - 韓国語、韓国文化教育の実践(世宗学堂財団：文化体育観光部傘下)
 - 短期韓国語教室の開講(国立国語院：文化体育観光部傘下)
 - 韓国語教材の作成(韓国国際交流財団：外交部傘下)

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.1. 韓国との接点

韓国語教育の専門家派遣(KOICA(韓国国際協力団)：外交部傘下)
 →韓国語教育の質的向上(特に中上級)、高麗人教員の教育
 その他、現地総領事館、在外同胞財団(外交部傘下)による支援も

- ・韓国企業の進出
- ・韓流ブーム
- ・人的往来の増加(国内韓人会の存在、『韓人日報』を毎日刊行)
- ・宣教師による布教活動

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.1. 韓国との接点

活動例：◆韓国語キャンプ(カザフスタン、ロシア)

2017年 高麗人青少年のための韓国語キャンプ

2018年 2018高麗人青少年韓国語集中キャンプの実施
 (在外同胞財団主催、韓国外国語大学主管)

※以下は2018年の情報(안정민, 김재욱(2019))

- －10段階のレベル別教育を通じた韓国語能力の涵養、韓民族アイデンティティの向上、自律的(自己主導)学習を目標とする
- －韓国外国語大学 グローバルキャンパスで開催、9泊10日
- －カザフスタン、ロシアの高麗人中学生計78人が参加

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.2. 高麗人組織との接点：国内ネットワーク

教育機関における教師＝高麗人が多数在籍

◆高麗人協会(カザフスタン、ウズベキスタン)

※カザフスタンの場合

- ・ 1990年 高麗人文化センター開設
1995年 高麗人文化センターに改称
- ・ 設立目的(최야나, 임영상(2017))
 - －韓国語教育、および民族文化の再生と発展
 - －経済基盤の構築、および地域高麗人協会の発展計画
 - －青少年プログラムの開発 －他民族間の友情の強化
 - －他民族関係の設定と発展

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.2. 高麗人組織との接点：国内ネットワーク

◆高麗人協会(カザフスタン、ウズベキスタン)

※カザフスタンの場合

- ・ 1990年 高麗人文化センター開設
1995年 高麗人文化センターに改称
- ・ 設立目的(최야나, 임영상(2017))
 - －韓国語教育、および民族文化の再生と発展
 - －経済基盤の構築、および地域高麗人協会の発展計画
 - －青少年プログラムの開発
 - －他民族間の友情の強化
 - －他民族関係の設定と発展

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.2. 高麗人組織との接点：国内ネットワーク

- ・ 各種会合や行事、合唱団、秋夕の祭

◆高麗日報社(カザフスタン)

- ・ 『高麗日報』(고려일보)：アルマトイで発行される韓国語による新聞
- ・ 前身は共産党の機関紙『レーニン旗幟』(레닌 기치、1938年5月～)、1991年に名称変更
- ・ 1992年以降、ロシア語版と韓国語版を週1回発行
→現在は、ロシア語＋韓国語版(1種)を週1回発行
- ・ カザフスタン社会におけるニュース、高麗人協会、高麗人に関するニュースも掲載
- ・ 2002年までは北朝鮮の正書法、2003年以降は韓国の正書法に依拠

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.2. 高麗人組織との接点：国内ネットワーク

◆高麗人文化センター(ロシア)

- ・ 2009年 ウスリスク市に開設
- ・ 高麗人の文化復活、伝統舞踊の開発、韓国の舞踊芸術を研究、公演
- ・ 北朝鮮の舞踊家を招聘し、舞踊教育を行うことも
- ・ 1階に博物館があり、高麗人の歴史を学習できる。また食堂では朝鮮の料理を提供
- ・ 韓国語教室、パソコン教室を実施
- ・ 年配者が多く集まり、食堂で宣教師と談話(韓国語で会話)

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.2. 高麗人組織との接点：国際ネットワーク

◆中央アジア韓国語学協議議会

(カザフ、ウズベキ、キルギス、タジキ、トルクメニなど)

- －2014年 設立
- －目的：中央アジア地域韓国学の発展とネットワーク構築、
問題点に対する共同対応
- －会誌『中央アジア韓国学ネットワーク』を発行(本部：カザフ世界言語大)
- －2020年6月 アスタナで国際学会を開催

4.2. 各種ネットワークと韓国語教育の接点

4.2.2. 高麗人組織との接点：国際ネットワーク

◆教員懇談会(カザフスタン)

2018年12月 「2018アルマトイ韓国語および韓国学教員懇談会」開催
(韓国大使館主催、カザフ世界言語大主管)

- －韓カ国交樹立25周年
- －高麗人強制移住80周年
- －カザフ世界言語大、カザフ国立大、KIMEP大、アルマトイ経済大、

アルマトイ経営大、トスタル学校、高麗週末学校、カザフスタン韓国語センター、スタディ코리아語学院、ワールドワイドエジュケーションなどから教員50人が参加 →各機関の現状について情報交換

5.まとめ：現状

- **韓国語教育に対する社会の一定の需要** ←経済的側面、文化的側面
⇒ 教育機関の多様化、質の向上 (地域差あり)
- **依然、高麗人への民族語、文化継承の側面も**

※高麗人の父母は自身の子に民族語を学ぶことを強く望む傾向(임영상(2008)、이종원(2016))。ただし、継承語として志向されるのは、高麗語ではなく、韓国語。

※中国の朝鮮族学校のような高麗人学校が存在しない。

※学習機関の多様化→各大学の韓国語専攻の民族語継承機関としての役割の終焉

5.まとめ：現状の問題点

- 先行研究で指摘された諸問題：教材、支援体系の確立
→韓国政府の支援により大幅な改善をみている

ただし、

- 多くの学校で**韓国で作成された教材**を使用
→ロシア語、ウズベク語、カザフ語による教材の作成が必要

※多くの高麗人2世～の母語はロシア語

⇔ (ウズベキスタンの場合)ウズベク語話者は84.3%(外務省(2020))

- **教師の確保**
→賃金の高い韓国企業などへの流出が深刻

参考文献一覽①

外務省(2020) 「ウズベキスタン共和国(Republic of Uzbekistan)基礎データ」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/uzbekistan/data.html#section1>

(最終閲覧日 : 2021年1月18日)

교육부(2018) 「대한민국 정책브리핑 : 실크로드에 부는 한국어와 한국학 열풍

www.korea.kr (最終閲覧日 : 2021年1月18日)

교육부(2020) 「재외한국교육원 기본 현황」

<https://www.moe.go.kr/boardCnts/view.do?boardID=350&lev=0&statusYN=W&s=moe&m=0309&opType=N&boardSeq=82158> (最終閲覧日 : 2021年1月21日)

김경준, 정은주, 이지연(2017) 『미래인재 개발 전략으로서 재외동포 청소년

지원방안 연구Ⅲ 한국청소년정책연구원 연구보고서』 한국청소년정책연구원

김윤주(2018) 「재소동포 대상 한국어교육 관련 연구 동향 분석과 과제(1)—지난 50년간의 학위 논문을 중심으로」 『우리어문연구』 61, 우리어문학회

参考文献一覽②

타슈켄트 한국교육원(2021) 「타슈켄트 한국교육원 홈페이지」

<https://tashkec.uz/ko/> (閲覧日 : 2021年1月22日)

문화체육관광부 국어정책과(2020) 『2019년 국어 발전과 보전에 관한 시책 및 시행결과 보고서』

블라디보스톡 한국교육원(2021) 「블라디보스톡 한국교육원 홈페이지」

<http://www.vladikoredu.kr/main/main.php> (閲覧日 : 2021年1月22日)

세종학당재단(2020) 「세종학당재단HP」

<https://www.ksif.or.kr/index.do?lang=kor> (閲覧日 : 2020年2月18日)

솔레바 딜라프루즈(2019) 「우즈베키스탄 한국어문화교육의 현황과 발전 방안」 『한국학논집』 77, 계명대학교 한국학연구원

参考文献一覽③

- 안정민, 김재욱(2019) 「고려인 청소년 한국어교육 프로그램 운영 사례 연구」
『외국어교육연구』 33-1 한국외국어대학교 외국어교육연구소
- 알마티한국교육원(2021) 「알마티한국교육원 홈페이지」
<http://www.koreacenter.kz/index.php>(閱覽日 : 2021年1月22日)
- 엄넬리(2006) 「러시아 및 CIS지역 민족교육과 문화계승을 위한 한국과 고려인의
협력방안」 『전남대학교 세계 한상문화연구단 국제학술회의』 전남대학교
세계한상문화연구단
- 외교부(2020) 「국가/지역 정보」
http://www.mofa.go.kr/www/nation/m_3458/list.do(最終閱覽日 : 2020年3月3日)
- 이종원(2016) 「연해주 고려인에게 있어서 한국어의 의미와 교육」
『교육학논총』 37-2, 대경교육학회

参考文献一覽④

- 임영상(2008) 「독립국가연합 고려인 청소년의 현황과 분석」 『역사문화연구』
29 한국외국어대학교 역사문화연구소
- 조엘레나(2018) 「러시아 연해주 고려인의 한글교육 현황 및 과제」 『국내학술
회의2018 동북아 평화교육 포럼』 전남대학교 글로벌 디아스포라연구소
- 중양아시아 한국학교수협의회(2019a) 『중양아시아 한국학네트워크』
(발행일:2019년 1월 20일)카자흐 국제관계 및 세계언어대 한국학센터
- 중양아시아 한국학교수협의회(2019b) 『중양아시아 한국학네트워크』
(발행일:2019년 6월 15일)카자흐 국제관계 및 세계언어대 한국학센터
- 최승진, 김석원(2004) 「우크라이나의 한국학자료와 고려인」
『역사문화연구』 20, 한국외국어대학교 역사문화연구소

参考文献一覽⑤

최야나, 임영상(2017) 「카자흐스탄 고려인 협회의 활동」 『글로벌문화콘텐츠학회 학술대회』 2017-6, 글로벌문화콘텐츠학회

최영표(2002) 「러시아 연해주 고려인 민족교육의 실태와 지원방향」 『전남대학교 세계한상문화연구단 국제학술회의』 전남대학교 세계한상문화연구단

K스피릿(2018) 「우즈베키스탄서 한국어·한국학 교육한류, 정규교육 진입」

<http://www.ikoreanspirit.com/news/articleView.html?idxno=53365>

(最終閱覽日 : 2021年3月12日)

한 넬리(2015) 「카자흐스탄에서의 한국어 교육과정」 (제25차 국제학술대회 제5분과) 『국제한국어교육학회 학술대회논문집』 국제한국어교육학회

한영균, 김수경, 김류보비(2009) 「중앙아시아 3국의 한국어 교육－교육 현황과 특징을 중심으로－」 『한국어 교육』 20-2, 국제한국어교육학회